

2022 総合労働条件闘争

交渉スタート!!

**UOROKU
UNION
NEWS**

2月21日(月)第40期第13回労使協議会が執行部20名(うちリモート出席13名)、会社側3名の出席で開催され、2021年1月度(単月・累計)の業績・生産性の確認、インターバル規制違反状況の確認、長時間労働の対象者とその原因について協議を行い、そして賃上げを含む総合労働条件について16項目の要求書及び1項目の申入書を提出しました。

今回も「3密」をさけるために座席への配慮と、Zoomを使いリモートでの会議を行いました。

1. 業績報告・・・各支部組合掲示板に掲示

業績について会社側は、1月については予算を立てた時点では、通常の生活に戻ってくるとの想定したうえで予算を組んでいたが、思ったよりもコロナ禍が収束しておらず、依然として同じような状況下において、業績は前年を上回る結果を残せたことは大変喜ばしいことだと述べた。

ただ世の中の状況が変わっていないことを考えると、予算が達成できていれば万々歳というわけではなく、あともう一步頑張って予算比だけでなく前年比も達成することができてこそ、みんなで喜べるということを共通認識としてほしいと述べ、今後あらゆるものが値上げになるなか、賃上げをするにはいかに一人ひとりの頑張りによって生産性を上げていくことが大事かをわかってほしいとし、みんなで知恵を出し合って頑張っていきたいと述べた。

これに対し組合側は、前年比を達成するためにもあと一か月強を頑張り続けたいと述べ、人時生産性3,000円以上を労使共通の目標とするなか、月によっては数値達成することができたということは、会社内の仕組みや体制づくり、そして各部が改善を図り、ロス・荒利益の管理を工夫してきた成果だという認識を示し、新たな仕組みやシステムをしっかりと利用して、今期を最後までしっかりやり抜き、来期に向けて頑張っていきたいとした。

物価・コストなどの値上げの影響は大きいですが、ウオロクは賃上げの能力のある企業だとは思っているの、強みの部分をどう生かせるかを考えながら、数字の確認や認識の共有を行い、社員みんなが誇りをもって良い仕事ができるように、労使ともに一緒になって頑張っていきたいと述べた。

2. 協議事項

- 1)「インターバル規制(9時間)」2022年1月度の違反状況確認
- 2)「長時間労働(残業時間月45時間以上)」2022年1月度の対象者と原因を確認
- 3)2022 総合労働条件闘争交渉要求書提出

3. 協議内容

1)「インターバル規制(9時間)」違反状況確認

- 2022年1月度違反人数：3名(2021年1月度：10名)
内訳：アルバイト→勤務表作成の際に配慮が足りなかったため
主任→正月対応
SV→長岡店改装

会社側は、昨年10件だったところから3件になり確実に減少してはいるが、なかなかゼロになりそうでならない、減少していることに満足せず、毎月ゼロが並ぶよう目指したいと述べた。

これに対し組合側は、ゼロを目標にするのはもちろんのこと、新店オープン時や改装時にやはり出てしまうので、本人のケアと理由確認を引き続きお願いしたいとした。今回の要求書の中にも勤務間インターバル規制の要求をしており、次のステージを目指すためにも問題解決に向けて労使で協力していきたいと述べた。

2)長時間労働(残業時間月45時間以上)の対象者と原因を確認

- 2022年1月度超過人数：8名(2021年1月度：23名)

会社側は、1月20日発令の大きな異動により、新任店舗に着任した主任や、新崎センターで一時的に生産量が多くなり人員手配が間に合わなかったことなどを主な要因として挙げ、作業標準化や引継ぎの方法なども含め上手くいくようにすることが今後の課題であると述べた。

これに対し組合側は、対策をして頂いたうえで件数が減っていることについて感謝を述べ、人事異動関係の問題については、慣れない状況ということが理由の上位になっていることへの対策を引き続き検討して頂きたいとした。

新崎センターの問題についても、人事異動等でM/Hの体制は変わってきているが、これからも供給量が増える時などはあるはずなので、新しく稼働予定の生鮮デリカセンターでも同じような問題が起こらないよう、引き続き対策をお願いしたいと述べた。

3)2022 総合労働条件闘争交渉要求書提出

※ 闘争情報 VOL.1 を参照